

令和5年度秋田県放課後児童支援員認定資格研修 研修レポート抜粋

(誤字脱字等については校正しているため、原文と異なる場合があります)

県南会場

科目 ⑬子どもの生活面における対応

- ◆ 児童が放課後児童クラブへ来所する際には安心できるように迎え入れ、一人一人の表情や体調を把握し、支援員同士で共有できるように声を掛け合っていくことで適切な対応ができると学びました。子どもの欠席については、あらかじめの連絡内容を確認しておくとともに、連携を密にするためにも保護者との関係が良好でなければなりません。日常の中で保護者との信頼関係を築いていけるように心がけていきたいと思えます。
- ◆ 本科目を受講して子どもの健康管理や情緒の安定を確保するために必要な基本的知識を学ぶことができました。日常的に子どもの体調や様子に留意して保護者や学校、他の支援員と情報を共有することや、アレルギーによる緊急時の対処法や衛生管理について具体的な事例や関連資料により理解を深めることができました。
- ◆ 私たち支援員は放課後児童クラブに来所する児童の検温やおやつ時の手洗い、おやつの内容や材料のチェックも大切であるということが理解できました。毎日の教室の清掃も重要なことで、さまざまな菌を取り除き、コロナやインフルエンザ、アナフィラキシーショックなど命に関わる事態が発生しないよう日々気を付けたいです。
- ◆ 本研修を通して、特に衛生管理と衛生指導、また食物アレルギーに対する知識を増やすことができました。感染対策として、スタッフが感染源にならないために必要なことや感染症の特徴等を分かりやすく学ぶことができました。また、アレルギーの経過や間違いやすい症状、除去食やエピペン等のなかなか知ることのできない情報がたくさんありました。今回講義で知ったことをもとに感染対策やアレルギー対応ができるようになりたいです。
- ◆ 食中毒や感染症の具体的な予防対応を知ることができてよかったです。特に学童保育では、おやつ時間が子どもにとってとても楽しい時間であり、子どもの食育という面からも大切な時間となっています。挨拶、手洗い、座り方などを毎日繰り返し行い、習慣化することも大切です。子どもを独りぼっちにしない座席の決め方といった配慮も大切であるということで、大変勉強になりました。